

令和5年度 第1回タウンミーティングの振り返りについて

8月7日

7月14日に開催した令和5年度第1回タウンミーティングは「飯田の自慢したいところ・自慢できないところ」をテーマに高校生25人と意見交換した。

話し合った内容は多岐にわたり、それぞれ示唆に富むものだった。

次回の広報広聴委員会では正副委員長でポイントを絞った内容について委員同士で考察や感想を協議し、常任委員会や執行機関側へ申し送る整理をしていきたい。

各委員におかれては各グループにおいてまとめられた記録に目を通し、ポイントとなる内容(下記参照)をはじめ協議できるよう備えていただきたい。

1 「焼肉のまち」が有名

- ・しかし、地元経営の店に高校生が行くことはほぼない。
- ・高校生同士で焼き肉店へ行く時は食べ放題が多い。
- ・結局は値段。品質よりも安くてたくさん食べられるのが良い。
- ・焼肉を家族でやるとすれば家が多い。

2 高校生の遊ぶところが少ない。

- ・飲食店とかに限られている
- ・おしゃれなカフェがあると良い。
- ・ラウンドワンみたいな総合娯楽施設がほしい。
- ・飯田駅前に若者が集える場所があると良い。
- ・遊びに行きたいときに行ける場所が少ない
- ・アップルロードは色々あるが、上の方(中心市街地)は限られてくる
- ・大きな体育館が一つあると、この近くで大会とかができる
- ・三日市場の運動公園やアクアパークは駅から遠く行きがたい。

[大学院生の発言より]

- ・高校を卒業すると車の免許を持つようになるので、遊ぶ場所があるかどうかは足が有るかないかの違いになってくる。車があれば飯田の素晴らしい場所に行くことができる。
- ・有名な店が飯田にあればと思うが、実際にあったとしても毎日利用するわけでもないし、必ず必要なものでもない。あればかえって都会化してしまう。

3 交通の便

- ・電車の本数が少ない
- ・家から駅まで車で20分。バスも通っていないくて親に送り迎えしてもらっている。

※ほか類似した内容の発言が多数あり

- ・本数が増やせないのなら、例えば飯田に正午で待ち合わせできるようにそれよりも少し早めに着ける運行にしてほしい

4 自転車に優しいまち

- ・自転車は車道を走るが、道が狭くてクラクションを鳴らされる
- ・車に乗せてもらっているとき、自転車をみるとちょっと危ないと感じる
- ・学生時代に2回引かれたことがある

5 その他

飯田の自慢したいところ

◆人との距離

- ・「お帰りなさい」と声をかけてくれる
- ・人と人とのつながりで輪が広がっていく
- ・人形劇をしていることを地域の人知っていて嬉しい。
- ・一方、距離が近すぎて鬱陶しいこともある。噂が流れるのが早く、自分が言っていない進路のことなどを周りが既に知っている。

◆ブランド、色々な文化

- ・伝統文化、伝統芸能がたくさんある。獅子舞は絶対続けたい。
 - ・焼肉が有名
 - ・秘境駅が有名
- (色々な文化があるのは良いことだが、広めていけないのが課題)

◆自然と街のバランス

- ・山の近さ、小さい山がたくさんある
- ・リンゴを植えまくってどこへ行ってもリンゴがあるという感じになれば

◆治安は比較的良い

◆まちづくりに積極的

飯田の自慢できないところ(課題)

◆新しいものの取り入れ方

- ・昔のことをやり過ぎているのではないかということから若い人が外に出たくなってしまう
- ・新しいものを取り入れるときの“しがらみ”というか、守りつつ変えていくって言うのはできないのかな
- ・結びつきが強いのは良いことだけれど、みんな強制参加みたいな雰囲気は住みやすいと言えないのかな

◆四年制大学がない

◆アルバイト先がなく、時給も安い

◆校則

- ・「高校生らしい容姿を」という校則の理由を先生に尋ねたが「伝統のイメージを守りたい」だそうで、意味が分からない。髪色が明るいからと本人が真面目か不真面目かは分からない。変な偏見を今も守り続けているのは変だ。
- ・校則を変えようとしたが、同窓会の人たちから「昔からこうだった」と言われて。夏や冬は暑すぎたり寒すぎたりして制服だけだと使用できなくなる。

◆進路について

- ・東京の大学志望で、卒業したら音楽活動を東京でしたい
- ・地元の大学を出て市内に就職したい
- ・飯田には帰ってこない
- ・行ってみないと分からないが、帰ってくる機会は作りたい。

[大学院生の発言]

- ・都会はあんパンに例えると、大きいけれど中身が少ない。飯田は形は小さいが中身が濃く充実している。一度は都会に住んでみても、ぜひ飯田に帰ってきてほしい。自分も県内に就職するつもり。